

今年度の取り組みに関する評価及び 来年度の取組提案 (事務局案)

資料2の見方について（注意事項）

第1回委員会後、委員からの妥当性の判断及び意見を基に記載した箇所は、赤字で表示しております。

具体例

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価		来年度の取組提案
公共交通軸	④県境を越える新設路線 ・新設路線の検討（H29～R3 検討）※P1	B ↓ A	豊橋市と以下の新規路線の可能性について、情報交換を実施した。 ・新所原駅⇔二川駅間 ・豊鉄バス二川線の新所原駅乗入	需要と経費を比較しながら、今後も豊橋市と情報交換を継続していく。また、市民からも意見を聞きながら検討していく。

左記の評価を参考に、事務局案として記載しています。

委員からの意見を基に記載した箇所は、赤字で表示しております。

今年度評価及び来年度の取組提案 (事務局案)

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価		来年度の取組提案
公共交通軸	①東海道本線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～R3実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	サービス水準を維持して運行を継続する。
	②天竜浜名湖線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～R3実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	サービス水準を維持して運行を継続する。
	③浜名線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～R3実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	サービス水準を維持して運行を継続する。
	④県境を越える新設路線 ・新設路線の検討 (H29～R3検討)※P1	B	近隣市町(豊橋市)との情報交換を令和2年1月9日に実施し、双方の公共交通の現状、地域の実情、新設路線への課題を共有した。	需要と経費を比較しながら、今後も豊橋市と情報交換を継続していく。また、市民や周辺企業からも意見を聞きながら検討する。
拠点内巡回・拠点アクセス	①コーちゃんバス ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～R1.9実施)※P2～P9	-	サービス水準を維持して運行を継続している。 (各路線毎の評価を、P5～6に記載)	サービス水準を維持して運行を継続する。
	・路線の再編 (H29～R1.9検討)(R1.10～実施)※P10	B	効率的な運行による利便性の向上と財政負担の軽減を両立させることを目的に検討を行った。(令和2年10月1日に路線再編を実施)	引き続き各バス停毎の利用者数の推移などを見ながら、必要な見直しを実施する。
	・運賃体系の見直し (H29～R1.9検討)(R1.10～実施)※P10	B	利便性と財政負担の両立を考慮し、かつ、分かりやすく利用しやすい運賃体系とするために検討を行った。また、小学生など通学利用者の負担増へ配慮した運賃体系について検討を行った。(令和2年10月1日に見直しを実施)	持続可能な公共交通機関となるように実績等をみながら検討を行う。
	②自主運行バス浜名線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29実施、H30～R1検討)※P10	B	コーちゃんバスへ編入し、サービス水準を維持して運行を継続している。	サービス水準を維持して運行を継続する。
	・路線の再編 (H29～R1.9検討)(R1.10～実施)※P10	B	コーちゃんバスへ編入した。	引き続き見直しを実施する。
	・運賃体系の見直し (H29検討)(H30～実施)※P10	B	コーちゃんバスと同様に運賃体系の変更を行った。	持続可能な公共交通機関となるように実績等をみながら検討を行う。

※自己評価の三段階評価

- A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著
- B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある
- C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価		来年度の取組提案
地域 リーダー	①導入検討路線 ・導入に向けた検討(H29～R1.9 検討)※P11	B	新居地区の一部で導入について、 地元自治会と検討した。	新居地区内の自治会への説明 や地元住民へのPRなどを実施 する。
	・実証実験 (H29.12～H30.9実施)※P11	B	知波田地区において、 コロナ禍 により啓発活動を行うことがで きず登録世帯数が伸び悩んでい るため 、令和3年9月まで実証実 験を延長した。	知波田地区内の自治会などと 連携し、利用啓発を行いなが ら実証実験を継続する。
	・本格運行(地域との合意を得 る)(H29.9～R3検討)※P12	A	白須賀地区において、令和2年4 月から本格運行へ移行した。 ま た、利用者数も増加傾向であり、 新たな移動手段として地区に定 着している。	利用啓発を行いながら運行を 継続する。
タクシー	①タクシー ・公共交通としての機能・役割 に応じた適正なサービスの提供 (H29～R3実施)	-	サービス水準を維持して運行を 継続している。	サービス水準を維持して運行 を継続する。
乗継環境 の整備	①乗継拠点や主要なバス停の乗 継環境整備 ・拠点駅や主要なバス停での乗 継利便性の向上 (H29検討)(H30～R3実施)※P13	B	車内において乗継案内チラシを 作成し情報提供を行う とともに、 交通マップや市ウェブサイト等 で周知を実施した。	サービス水準を維持して情報 提供を継続する。
公共交通に 関するわか りやすい情 報を提供す る事業	①公共交通利用に係る積極的な 情報提供 ・バス停(コーちゃんバス)の案 内表示の多言語化の実施) (H29検討)(H30～R3実施)※P13	B	バス停修繕や更新時に合わせて 追加している。	引き続き修繕及び更新時に合 わせて追加する。
	・公共交通マップの企画・作 成・見直し(H29～R3実施)※P14	A	市内を運行する公共交通を網羅 した総合交通マップを作成し公 共交通の利用促進を図るため、 令和2年10月1日の再編及び運賃 改定に合わせて全体図を大幅に 拡大し、バス停位置が分かりや すい設計とした。	ダイヤ改正などで再度作成す る際は、より分かりやすい公 共交通マップにするための見 直しを行う。
	・バス利用啓発ポスターの企画・作成・見直し(H29～R3実施)P15	C	今年度においては、コロナ禍に より、企画・作成等については 自粛した。	コロナ禍の状況により啓発内 容の変更等を行い事業を継続 する。
	②分かりやすい運行情報・乗継 情報の提供 ・公共交通マップへのわかりや すい乗継情報の掲載等(H29～R3 実施)※P15	A	令和元年10月ダイヤ改正に合 わせて更新し令和2年10月1日改正 の総合交通マップについて、レイ アウトの変更に合わせて更新 した。	ダイヤ改正などで再度作成す る際は、より分かりやすい公 共交通マップにするための見 直しを行う。
	・拠点駅におけるバス乗り場の 案内表示の設置(H29検討)(H30 ～R3実施)※P15	-	平成30年度において、拠点駅の 整備事業に合わせて設置した。 (R1自己評価:B)	案内表示の維持管理を行う。
	・主要施設や主要バス停でのバ スロケーションシステムの検討 (H29～R1検討)(R2～R3実施) ※P15	B	導入に対しての費用対効果につ いて検討中。	スマートフォンの活用も含め、 利用者の年齢層、費用対効果 等を考慮し、導入の是非につ いて検討を行う。

※自己評価の三段階評価

- A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著
B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある
C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価		来年度の取組提案
公共交通の利用を誘導する事業	①公共交通の割引運賃の導入 ・バスの日乗放題券等の企画乗車券の導入 (H29～R3実施)※P16	B	コーちゃんバスの片道定期券をH30年2月から導入・販売した。	既存の販売促進と併せてSNSを活用した啓発を検討する。
	・天竜浜名湖線の小学校入学祝い記念乗車券、敬老記念乗車券の発行【継続】(H29～R3実施)※P16	C	事業予算削減により、事業を行わなかった。	今年度と同様、事業を行わない。
	②モビリティマネジメントの実施 ・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催【継続】(H29～R3実施)※P16	C	新型コロナウイルス拡大防止の観点から延期とした。	コロナ禍の状況をみながら事業を継続する。
	・公共交通利用促進のための動機付け資料の作成 (H29～R3実施)※P17	-	平成29年度において、動機付け資料を作成した。(R1自己評価:B)	作成した資料について、イベント時の啓発資料として活用する。
	・特定地域におけるモビリティマネジメントの実施 (H29～R3実施)※P17	-	平成30年1月から入出、新所地区にて実施した。(R1自己評価:B)	利用啓発における参考データとして活用する。
	③免許返納者の優遇 ・免許返納者への優遇措置の導入 (H29～R3実施)※17	A	平成29年4月から運転免許証自主返納等をした市民を対象に2年間のバス無料乗車券を交付した。	今年度に引き続き事業を継続し、窓口での丁寧な利用案内を実施する。
	④観光振興のための公共交通利用促進策の実施 ・観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施 (H29～R1検討)(R2～実施)※P18	A	「コーちゃんを上手に利用する会」と「古里ガイド」と協力し、観光ルートについてコーちゃんバスに実際に乗車して検討を行った。	白須賀新居鷺津線の経路の見直し、コロナ禍の状況をみながら内容の修正、市民への周知等を検討する。
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	①関係機関と連携した取り組み ・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施 (H29～R2.9検討)(R2.10～実施)※P18	B	協力していただける商業施設を選定した。	導入可否の判断も含めて引き続き検討する。
	・バス停オーナー制度の継続実施【継続】(H29～R3実施)※P18	B	オーナー数の増減はなく、継続して実施した。	路線の見直しに合わせ新たなオーナーの募集や既存オーナーへの継続依頼を行う。
	②地域や企業、学校と連携した取り組み ・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化など (H29～R3実施)※P18	A	地元自治会と協力し、バス停休憩所の除草作業を行った。	自治会等へ協力を仰ぎながら環境整備を進めていくとともに他団体との連携についても検討を行う。

※自己評価の三段階評価

- A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著
 B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある
 C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価		来年度の取組提案
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み小学生50円バスの継続実施【継続】※P19 中学校卒業予定者を対象とした利用啓発活動の継続実施等(H29～R3実施)※P19 	B	夏休み小学生50円バスを実施したが、啓発についてはコロナ禍のため自粛した。(利用者減少)	<p>コロナ禍の状況をみながら豊橋市と協力しながら事業を継続する。</p> <p>市内中学校への利用啓発用チラシの作成と配布を検討する。</p>
	<p>③交通事業者と連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> バスの日イベントでの啓発活動の実施等(H29～R3実施)※P19 	B ↓ C	「湖西環境・緑化フェア」がコロナ禍により中止となったため、啓発活動も中止とした。	<p>交通事業者と連携し啓発活動を実施する。</p> <p>また、コロナ禍の状況により啓発内容や方法についても検討を行い事業を継続する。</p>
	<p>④コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> コーちゃんバスイメージアップの推進、企画乗車券の企画等(H29～R3実施)※P19 	A	利用者としての立場からご意見をいただく貴重な場となっている。また、コーちゃんバスを使って宿場をめぐるコースについて、実際にコーちゃんバスに乗車して検討した。	今年度に引き続き事業を継続する。
多様な主体による取り組み	湖西市地域公共交通会議の継続的開催【継続】※P20	B	継続実施中	今年度に引き続き事業を継続する。
	湖西市バス運行評価改善委員会の継続的開催【継続】※P20	B	継続実施中	今年度に引き続き事業を継続する。
	コーちゃんバスを上手に利用する会の立ち上げ・継続的開催※P20	B	平成29年に立ち上げ、今年度は2回開催した。	今年度に引き続き事業を継続する。

※自己評価の三段階評価

- A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著
 B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある
 C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

コーちゃんバス各路線別評価及び来年度の取組提案（事務局案）

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価	来年度の取組提案
拠点内 巡回・拠点 アクセス	①コーちゃんバス（白須賀新居鷺津線） ・現行サービス水準での運行【継続】（R1.10～R2.9実施）※P2	B 評価指標は、すべて「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率87.5%に対して利用者数の前年比は85.6%であった点、デマンド型乗合タクシーへの移手段の転換があった点を考慮した。	長大な路線のため便数が少なく、乗車時間も長い。また、白須賀地区において、デマンド型乗合タクシーが運行しており、運行エリアが重複している。地域住民の移動ニーズや実態を把握し、それらに合った路線の改善を検討する。（現在検討中）
	②コーちゃんバス（白須賀鷺津線） ・現行サービス水準での運行【継続】（R1.10～R2.9実施）※P3	A コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率92.3%に対して利用者数の前年比は93.8%であった点、平成28年と比較し利用者数増加となった点を考慮した。	令和2年10月に路線再編を行っているため、再編後の利用者数の推移、利用者、運行事業者からの意見、移動ニーズ、実態を把握しながら、必要な見直しを行う。
	③コーちゃんバス（白須賀岡崎線） ・現行サービス水準での運行【継続】（R1.10～R2.9実施）※P4	B 評価指標は、1人当たりの市の負担額が「B」、ほか2つの指標は「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率81.8%に対して利用者数の前年比は102.4%であった点、デマンド型乗合タクシーへの移手段の転換があった点を考慮した。	令和2年10月に路線再編を行っているため、再編後の利用者数の推移、利用者、運行事業者からの意見、移動ニーズ、実態を把握しながら、必要な見直しを行う。
	④コーちゃんバス（岡崎循環線） ・現行サービス水準での運行【継続】（R1.10～R2.9実施）※P5	B 評価指標は、すべて「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率50.0%に対して利用者数の前年比は62.1%であった点を考慮した。	令和2年10月に路線再編を行っているため、再編後の利用者数の推移、利用者、運行事業者からの意見、移動ニーズ、実態を把握しながら、必要な見直しを行う。

※自己評価の三段階評価

- A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著
- B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある
- C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

事業名	事業内容	今年度の取り組みに関する評価		来年度の取組提案
拠点内 巡回・拠点 アクセス	⑤ コーちゃんバス（岡崎鷺津線） ・ 現行サービス水準での運行【継続】 (R1.10～R2.9実施) ※P6	B	評価指標は、1人当たりの市の負担額が「B」、ほか2つの指標は「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率71.4%に対して利用者数の前年比は83.9%であった点を考慮した。	令和2年10月に路線再編を行っているため、再編後の利用者数の推移、利用者、運行事業者からの意見、移動ニーズ、実態を把握しながら、必要な見直しを行う。
	⑥ コーちゃんバス（知波田鷺津線） ・ 現行サービス水準での運行【継続】 (R1.10～R2.9実施) ※P7	B	評価指標は、すべて「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率76.9%に対して利用者数の前年比は84.9%であった点を考慮した。	令和2年10月の路線再編により知波田鷺津線を廃止し、入出新所鷺津線を延伸することで新たに「知波田入出線」として運行となる。再編後の利用者数の推移、利用者、運行事業者からの意見、移動ニーズ、実態を把握しながら、必要な見直しを行う。
	⑦ コーちゃんバス（鷺津循環線） ・ 現行サービス水準での運行【継続】 (R1.10～R2.9実施) ※P8	B	評価指標は、すべて「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の実績（10月から2月）は、減便率85.0%に対して利用者数の前年比は88.0%であった点を考慮した。	他路線と重複する経路が多くあり需要が分散される点、一方通行の経路であり、目的地まで遠回りするケースがあり利便性が低い点が課題であるため、運行経路の変更及び短縮により、利便性が向上するように路線の改善を検討する。
	⑧ コーちゃんバス（入出新所鷺津線） ・ 現行サービス水準での運行【継続】 (R1.10～R2.9実施) ※P9	B	評価指標は、すべて「C」判定であったが、コロナ禍の影響を受ける前の利用者数（10月から2月）は、令和元年度7,415人に対して令和2年度9,312人であった点を考慮した。（前年比109.7%）	令和2年10月の路線再編により入出新所鷺津線を延伸し、知波田鷺津線を廃止することで新たに「知波田入出線」として運行となる。再編後の利用者数の推移、利用者、運行事業者からの意見、移動ニーズ、実態を把握しながら、必要な見直しを行う。

※自己評価の三段階評価

- A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著
- B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある
- C：事業が実施・検討されていない、改善が必要